

2011年11月20日

ある日、わが家の子どもたちがどのようなマンガに興じているかを確認しようとしたとき、彼らの肩越しに次のようなフレーズが私の目に飛び込んできた。

「人の幸福とは家族の中こそあるのです。家族を守ることが国を守ることにつながり、家族の絆を弱めてしまつていくことは、先祖への誉れや未来の子孫の幸福や祝福を損なってしまうことにつながるのです。それを忘れないでください」

私は感動で、くぎ付けになつてしまった。そして、何冊か読ませてもらった。根底



安里 吉隆

論壇

家族の日、家族の週間

国、地域社会の基本は家庭

に、家族や人々の幸せを願う優しい心に支えられた作者の理想や理念、信念がしっかりと流れている良い作品ばかりだ。もちろん内容全てが手放して勧められるものでもないが、子どもたちにマンガにつ

いてあまり小言を言わなくなつた。彼らが読む作品には、アメリカの偉大な教育者アビッド・O・マッケイ氏の以下の言葉に通ずるものがある。「私たちに与えられた最も貴い財産は家族である。家族

年等非行の概況」によると、刑法犯少年の検挙・補導人員は1610人で、前年と比べると125人減少したが、全刑法犯に占める少年の割合が36・6%を占め、さらに全窃盗犯に占める少年の割合は44・8%で約半数を占めている。刑法犯少年のうち中学生が約60%、高校生が約15%を占めており、沖縄県は全国平均に比較すると中学生の割合が約1・5倍高くなっている。

庭は人間としての徳を学ぶ大切な場である。：愛のもとに一致した家族は、いかに貧しくとも、他のいかなる富にも増して神と将来の人類にとって大きな価値を持つのである。堅固な国家および地域社会の最も強力な基であるはずの家庭が、今非常に大きな危機にある。前述の勧告は、まさに今の私たちに向けて語られた警鐘だと強く感じている。

国の基本的強さは家族にあるとの認識から、内閣府では「家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図る」ために、07年度から「家族の日」「家族の週間」を定めている。今年の「家族の日」は11月20日、「家族の週間」は11月13～26日である。学校や地域との連携を深めながら、幸福な家庭および真の家庭教育力の回復に全県を挙げて取り組む必要があると思う。「いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない」(マッケイ氏)のである。(宜野湾市、ブリガム・ヤング大学全国高校生英語スピーチコンテスト沖縄地区実行委員会事務局長、52歳)